

△ 注 意

組立て上の注意

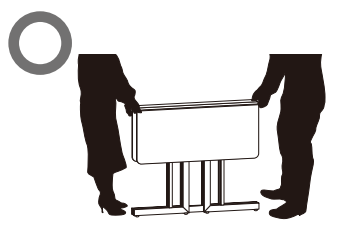
- 組立てる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み「組立て方」に従って正しく組立てを行ってください。
- 組立てる前に、部品が揃っているかご確認ください。
- 組立てるときに、部品などを幼児や子どもの手の届く場所に放置しないでください。
- 組立てるときに、部品の端部などで指がをしたり、指をはさまないように充分にご注意ください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 組立ては、水平で平らな場所で行ってください。また床面にキズがつかないようダンボールなどを敷いて行ってください。
- 電動ドライバーなど電動工具のご使用はお止めください。
- 設置する場所の近くで組立てることをおすすめします。
- 本製品は、2人以上で組立てることをおすすめします。

使用上の注意

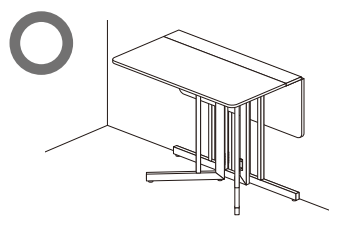
- 本製品は屋内専用です。屋外でのご使用はお止めください。また本来の用途以外でのご使用はお止めください。
- 各部がしっかり組立てられていることを確認した上でご使用ください。組立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 本製品を折りたたんだり広げたりするときに手や指をはさまないように充分注意してください。**
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所でのご使用はお止めください。
- ストーブなど熱機器や火気のそばでのご使用はお止めください。
- 高温多湿な場所でのご使用はお止めください。
- 直射日光など紫外線が当たる場所でのご使用はお止めください。
- フローリングなどキズがつきやすい床面で使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- じゅうたんの上や畳などやわらかい床では荷重で沈んだり、設置する場所によってはへこみや跡がつくことがあります。そのような場合は、敷物や当て板を敷いてご使用ください。
- クッションフロア材（塩化ビニル樹脂）の上でご使用の場合、環境（長時間同じ場所での固定・紫外線の当たる場所・湿度の高い場所など）によっては、色移り（移行）現象によりクッションフロア材の表面が変色する場合があります。
- 壁などとの接触を避け、少し離して（約10cm程度）からご使用ください。密着していると色移りして変色したり壁材が浮いて剥がれたりする場合があります。
- ものを載せるときは、荷重が一点に集中しないよう均等に載せてください。また耐荷重を超えるものは載せないでください。
- 天板（折り畳み部）のみに過度な荷重をかけることはお止めください。
- 加熱したなべ・湯沸かし・熱湯の入ったコップなどを直接置かないでください。
- AV機器・パソコン類・レンジなどの家電製品を設置する場合は、その取扱説明書に従って周囲に充分な隙間を確保して通気を良くしてください。家電製品の故障や火災の原因となります。
- ビニールクロス（塩化ビニル樹脂）を使用するときは、色移りや変色の原因になりますので定期的にビニールクロスをはずして、乾いたやわらかい布で置いた場所などを拭いてください。
- 湿ったものや濡れたものを置いたあとは、水分を放置せず、すぐに拭き取ってください。
- 本体にのぼったり、寄りかかったり、座ったり、踏み台としてのご使用はお止めください。また本体に手をついたり、握まり立ちなどはしないでください。特に幼児や子どもにはご注意ください。
- 天板の端に手をついた状態で立ち上がらないでください。過度な荷重をかけると転倒の原因になります。
- 本体を移動するときは、引きずらないでください。床面にキズをつける原因になります。
- 本体を移動するときは、置いてあるものをすべて下ろしてからしっかり持って移動してください。
- 開梱時ににおいが気になる場合は、部屋の換気をしたり、風通しの良いところにしばらく置いてからご使用ください。
- 使用中に、破損・変形・異音が生じた場合はただちにご使用をお止めください。

お手入れの方法

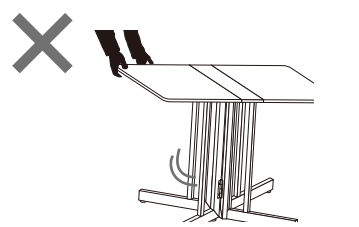
- 定期的に各部が緩んでいないか点検してください。
- 汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。また、汚れがひどいときは、やわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、それを固く絞ったもので汚れを落としてください。その後、もう一度乾いたやわらかい布で拭き水分を取り除いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などのご使用はお止めください。表面の剥がれや変色の原因になります。また化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含んだものを使用する時は、その注意書きに従ってください。



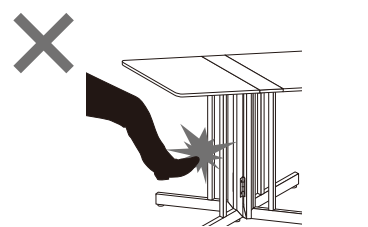
●移動する時は、必ず折りたんで2人で持上げてください。その際、手などをはさまないようにご注意ください。



●片側だけひろげて使用する時は必ず壁の前で使用してください。



●天板だけを持ち上げないでください。脚が動いて危険です。



●脚にぶつからないように注意してください。天板（折り畳み部）が落ちてきて危険です。

**株式会社ドウシシャ**

お客様相談室

〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-10

0120-104-481

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※商品名・品番をご確認の上、お電話ください。

※電話の際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、予めご了承ください。

ドウシシャ

検索

MADE IN CHINA

Lot No,

品質ラベルは本体に付属しています。

◎品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに弊社お客様相談室へご連絡ください。
◎本製品及び梱包材を廃棄する時は、お住まいの自治体の取決めた処理方法に従ってください。
◎天災などの不可抗力やお客様ご自身での修理・改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。

221101D

この取扱説明書に記載してある仕様・デザインは商品改良のため、予告なく変更する場合があります。イラストは実物と異なる場合があります。予めご了承ください。

DOSHISHA

折り畳みテーブル80W／120W

取扱説明書

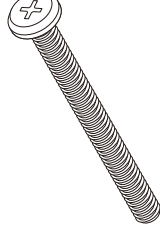
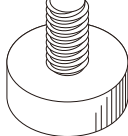
この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

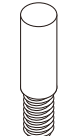
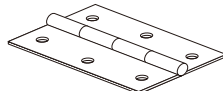
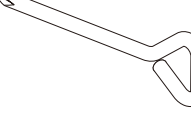
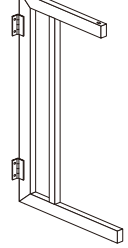
品 番	組立てサイズ (cm)					耐荷重 (kg) ※1	
	幅	奥 行			高 さ	天 板	
		開いた時	折り畳み時	片側だけ天板を上げた時		全 体	折り畳み部 (1枚あたり)
WKS8070-OT	(約) 80	(約) 80	(約) 14	(約) 47	(約) 72	(約) 20	(約) 10
WKS1270-OT	(約) 120						

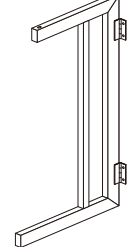
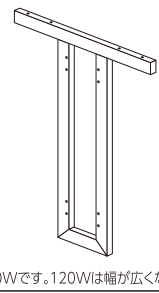
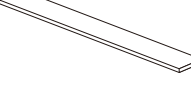
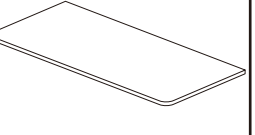
※1 耐荷重の値は、均等に荷重をかけた場合の値です。耐荷重は測定値であり、この値を保証するものではありません。

内容明細

内容物を下記の明細に照らし合わせて、組立てる前にご確認ください。

部品名	ねじ (A)	ねじ (B)	十字穴付ナット (C)	ねじ (D)	アジャスター (E)
部品図					
数 量	24 (+予備 1)	8 (+予備 1)	8 (+予備 1)	4 (+予備 1)	6

部品名	位置決めダボ (F)	丁番 (G)	⊕ドライバー (H)	クッションシール (I)	脚フレーム (左)
部品図			 付属の工具は組立後も点検のために使用します。大切に保管してください。		
数 量	4 (+予備 1)	6	1	4 (+予備 1)	2

部品名	脚フレーム (右)	本体フレーム	①中央天板	②折り畳み天板	必要な工具
部品図		 図は80Wです。120Wは幅が広くなります。	 図は80Wです。120Wは幅が広くなります。	 図は80Wです。120Wは幅が広くなります。	
数 量	2	1	1	2	

必要な工具

⊕ドライバーをご用意ください。

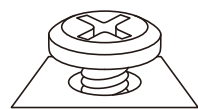
電動ドライバーなど、**電動工具の使用はお止めください。**
部品の変形や破損の原因になります。組立てる時やねじの締め直しをする時は、**必ず手動の工具を使用してください。**

本製品は、ねじを用いて連結しているため、ご使用を続けていく中でゆるみが発生する場合があります。ゆるみが発生している状態で使用を続けると、連結部が折れたりはずれの原因になります。安全にご使用いただくために定期的な締め直しをお願いします。

組立てのポイント

最初に全てのねじを仮締めしてから
最後に全てのねじをしっかり締める。

ねじを7～8割程度仮締める。



仮締め



全てのねじを仮締めした後、ねじをしっかり
締める。

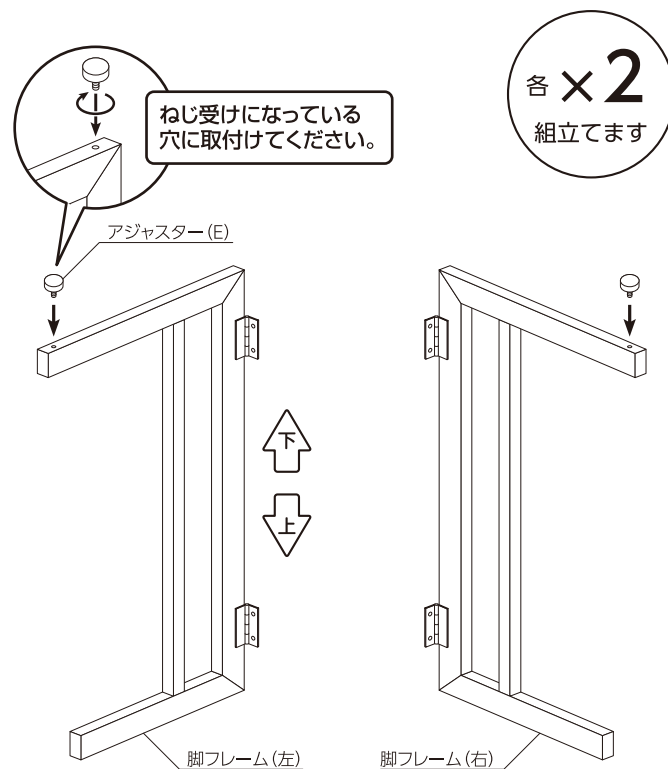


しっかり締める

※ねじを最初からきつく締めると、他のねじの位置が
合わなくなり、組立てができなくなります。また、全
体がゆがむ原因にもなるため、最初はねじを仮締め
にして、最後にすべてのねじをしっかり締めるよう
にしてください。

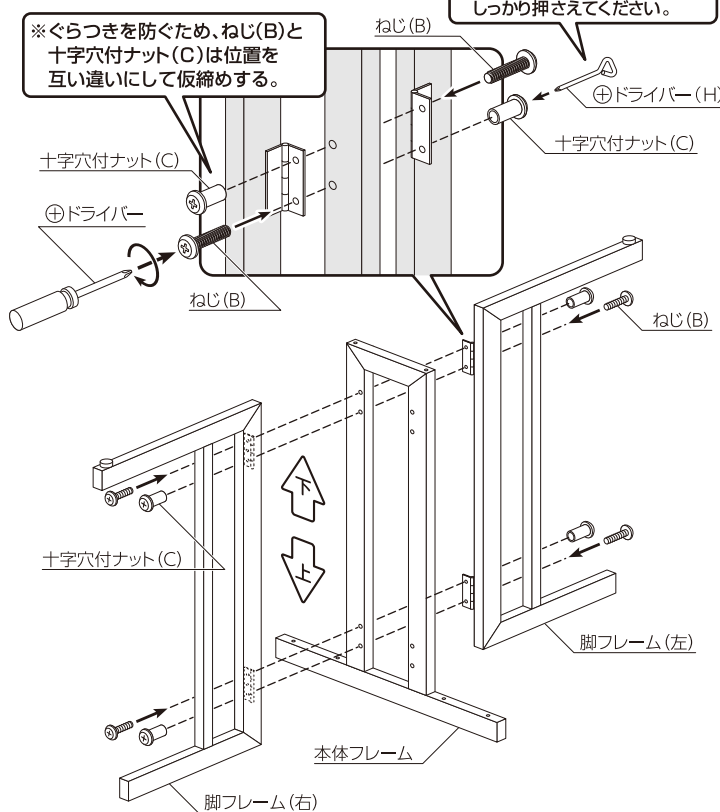
1 脚フレームのアジャスター取付け

脚フレーム(左)(右)にアジャスター(E)を取付けます。



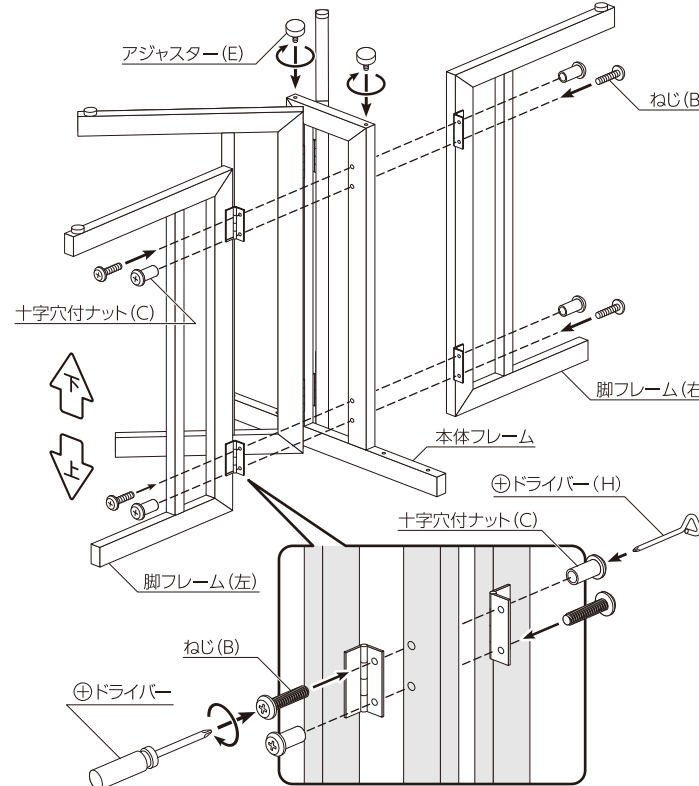
2 脚フレームと本体フレームの組立て1

本体フレームにねじ(B)と十字穴付ナット(C)を使って
脚フレーム(左)(右)を仮締めします。



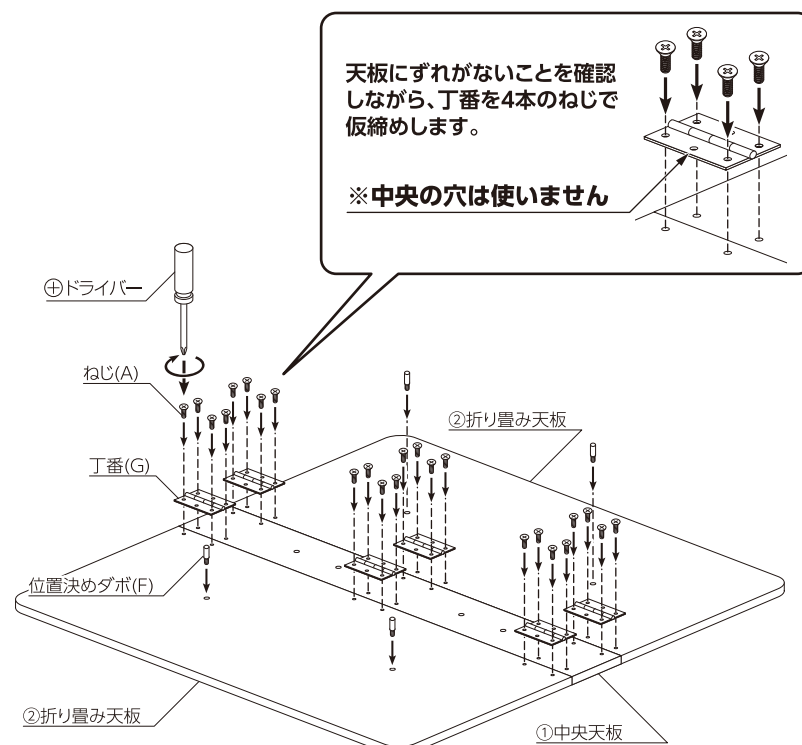
3 脚フレームと本体フレームの組立て2

2と同様にねじ(B)と十字穴付ナット(C)を使って
もう1組の脚フレーム(左)(右)を仮締めします。
本体フレームにアジャスター(E)を取付けます。



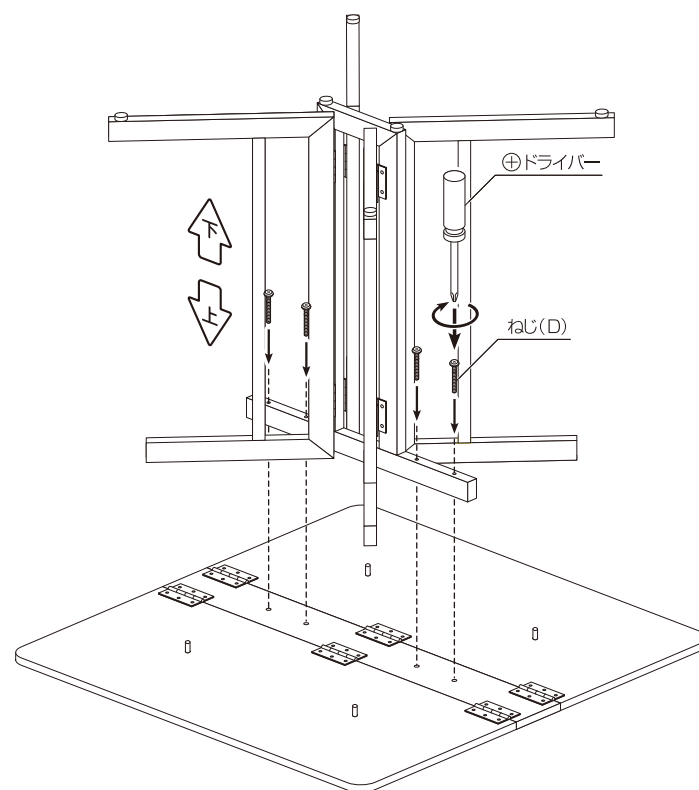
4 天板の組立て

ねじ(A)を使って丁番(G)を天板に仮締めします。位置決めダボ(F)を
②折り畳み天板に取付けます。



5 天板とフレームの組立て

3で組立てたフレームと、4で組立てた天板をねじ(D)を使って
仮締めします。仮締めし終わったら、全てのねじをしっかりとめます。



6 完成

天板裏にクッションシール(I)を貼ります。全ての組立て作業が
終了したら、もう一度取付け箇所にゆるみがないか確認しま
す。ゆるみがある場合は、しっかりと締め直します。

